

業 種 / サービス業
 主な事業内容 / 飲料、食品製造販売
 従業員数 / 250人

グループ全従業員を対象に安否確認訓練を実施

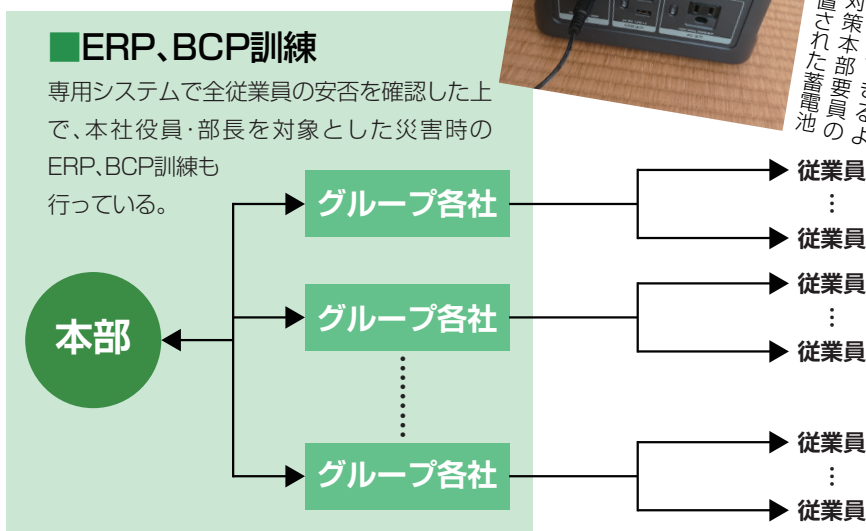
グループ全従業員を対象に、専用システムを使った安否確認訓練、消防署との合同避難訓練を行っている。発災時には、社内に留まり、避難するときには防災センターの指示に従うことを訓練している。また、次の訓練までの間を補完するため新規着任者向けに作成した防災ビデオにて周知努力している。

災害対策本部では、現況確認訓練が行なわれる。また、本部のメンバー全員が災害現場にいるとは限らないので、Webも交えてのハイブリッドで緊急事態対策本部を立ち上げている。

実際に令和6年能登半島地震が起きた際、安否確認システムでの安否確認が行われ、集計はスムーズに行なわれた。



停電時に稼働できるよう、災害対策本部要員の自宅に配置された蓄電池



被災停電拠点との通信に向けた衛星電話訓練、MCA無線訓練の実施

年に1回、停電を伴う災害を想定し、全国の中継局を通して安定した電波が送られるMCA(マルチチャンネルアクセス)無線や衛星電話を使用し、被災停電拠点との状況報告訓練等を行う。

また、災害が起きた際には、被災停電拠点にMCA無線機を運び、本社との連絡を絶やさないことも計画している。



※ERP(Emergency Response Plan)とは、『緊急事態対応マニュアル』『全体フロー』『行動手順(チェックリスト)』で構成される災害発生時に迅速かつ的確に対処するための計画